

日本株ロング・ショート戦略ファンド 愛称:「成長の風」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:平成30年5月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

運用実績等

ファンド概要

設定日	平成23年06月20日
信託期間	平成33年08月27日
決算日	毎年2月,5月,8月,11月の各27日(年4回)
信託報酬率	2.0844% (税抜 年1.93%)
基準価額	9,013円
純資産総額	125,134,532円

※決算日が休業日の場合は翌営業日となります。

※信託報酬率2.0844%(税込)の他に運用成果に応じた実績報酬がかかります。

期間収益率

当ファンド	参考指数	
過去1ヶ月	+1.21%	-1.67%
過去3ヶ月	-1.09%	-0.26%
過去6ヶ月	+5.63%	-1.41%
過去1年	+13.77%	+13.78%
過去3年	-11.19%	+11.25%
設定来	+5.79%	+151.36%

※税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。

※参考指数は、TOPIX(東証株価指数 配当込み)を指します。

分配実績(1万口当たり、税引前)

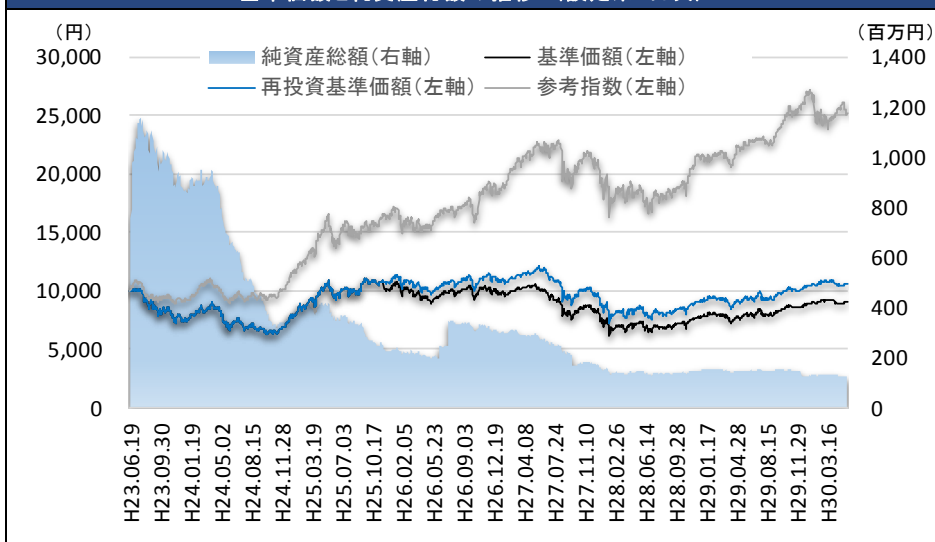
設定来合計	1,650円
第26期 平成29年11月27日	0円
第27期 平成30年2月27日	0円
第28期 平成30年5月28日	0円

※分配金実績は、過去の実績であり、将来の分配をお約束するものではありません。

※分配金は、交付目論見書記載の分配方針に基づき委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※分配金実績は、直近3期分を記載しています。

基準価額と純資産総額の推移(設定来:日次)



※基準価額は、信託報酬(年率概算(税込)2.0844%)控除後の値です。

※再投資基準価額の推移は、税引前分配金を全額再投資したものととして算出しているため、実際の受益者利回りとは異なります。

※参考指数は、ファンド設定日前日のTOPIX(東証株価指数 配当込み)を10,000とした指数を使用しています。

TOPIX(東証株価指数)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

ハイ・ウォーターマーク

次回計算期間の終了日まで	10,085円	※決算日前営業日の公表基準価額が翌期のハイ・ウォーターマークに更新されます。
--------------	---------	--

※決算日に収益分配金が発生した場合には、決算日前営業日の公表基準価額から収益分配金を控除した価額が、翌期のハイ・ウォーターマークとなります。

※信託報酬のほか、実績報酬を設けており、超過収益が発生した場合には収益の21.6%(税抜20%)が各決算日および償還時に支払われます。なお、実績報酬は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示することはできません。

※計算期間中にファンドの解約をした場合には、解約価額(基準価額公表から信託財産留保額を控除した額)が既に実績報酬を含んで算出されておりますので、追加で実績報酬が発生することはありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート戦略ファンド 愛称:「成長の風」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:平成30年5月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの目的や特色、及び、当月末のポジション状況

ファンドの目的

当ファンドの目的は、わが国の金融商品取引所上場株式への投資を通じて、安定的な収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- ① 日本株ロング・ショート戦略により、株式市場の変動による影響を軽減しつつ、中長期的に積極的なプラスのリターンを目指します。
- ② 銘柄の選定にあたっては、テーマ・アプローチおよびボトムアップ・アプローチにより投資銘柄を選定します。

エクスポージャー	ロング・ポジション	ショート・ポジション
L/S エクスポージャー	91.68%	-77.29%
グロス・エクスポージャー	168.97%	
ネット・エクスポージャー	14.39%	

*流動性	ロング・ポジション	ショート・ポジション
1日	99.87%	---
3日間	100.00%	---
5日間	100.00%	---

※25日平均出来高の20%を売買する前提としています。

保有銘柄数	ロング・ポジション	ショート・ポジション
136 銘柄	136 銘柄	0 銘柄

※保有銘柄数は、組入れの株式と上場投資証券の数を表示しています。

時価総額別	ロング・ポジション	ショート・ポジション
Mega (≥5,000億円)	28.86%	0.00%
Large (2,000~5,000億円)	9.92%	0.00%
Mid (500~2,000億円)	20.19%	0.00%
Small (200~500億円)	15.52%	0.00%
Micro (≤200億円)	17.19%	0.00%
株価指数先物等	0.00%	-77.29%

銘柄別組入れ上位5銘柄

ロング・ポジション					ショート・ポジション		
銘柄コード	市場	銘柄名	業種等	純資産比	業種等	純資産比	
1	6039	東証M	日本動物高度医療センター	サービス	2.41%	株価指数先物	-77.29%
2	4502	東証1	武田薬品工業	医薬品	2.13%	該当無し	---
3	6697	東証M	テックポイント・インク JDR	電気機器	1.91%	該当無し	---
4	4922	東証1	コーセー	化学	1.89%	該当無し	---
5	7323	東証M	アイベット損害保険	保険	1.80%	該当無し	---

※上記内容は、当ファンドの組入銘柄の紹介を目的として作成しましたが、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

※上記内容は、作成基準日における情報を元に作成していますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。

※当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

※業種については、東証33分類をもとに分類しております。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認くださいのうえ、お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート戦略ファンド 愛称:「成長の風」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:平成30年5月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

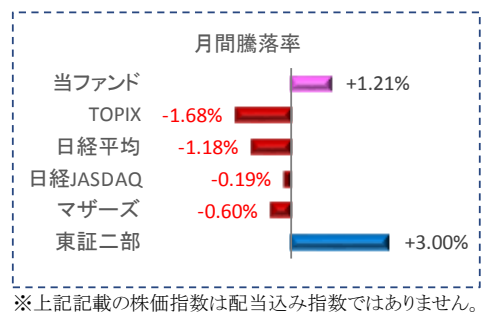
ファイブスター投信投資顧問株式会社

マンスリーコメント

市況概況

日本株については、日経平均株価-1.18%、TOPIX-1.68%と反落した一方、中小型株は、東証マザーズ指数が-0.60%、日経JASDAQ平均は-0.19%の小幅な下落にとどまる動きになりました。

当月は、原油価格の上昇と米国長期金利上昇を背景にしたドル高により、日本株は中旬までは堅調に推移しました。しかし、ドル高による新興国通貨・株式の下落と、米朝首脳会談の中止報道、米国での自動車関税リスク台頭、イタリアやスペインでの政治リスクの高まりにより月後半に日本株は急速に値を崩しました。



運用概況

今月の当ファンドのパフォーマンスは、前月末比+1.21%の上昇率となりました。

まず、月中の日本株の動きについては、月初では日経平均株価で22,000円から23,000円のレンジでの振れ幅の狭い展開を予想していたのに対し、実際は、安値21,931円、高値23,050円、終値22,201円と、ほぼ想定通りの株価水準となりました。当月の日本株のセクター別パフォーマンスは、値上がり率上位が、サービス、化学、ガラス土石で、鉱業、海運、非鉄金属がワーストパフォーマンスとなりました。ドル円で円安が進む中で、当初は輸出関連株を含むバリュー株が堅調に推移しましたが、後半は自動車株を中心に外需関連株が急速に値を下げました。

その中で、当ファンドは、今回の決算期における決算発表後の値動きの大きさにより、中旬までは苦戦しました。しかし、市場全体としては当初の相場観に沿った値動きとなり、ロングサイドにおいて、中旬まではバリュー株を重視し、その後は即座にディフェンシブ株へのポジションを増やすなど、大枠のポジション構築自体は適切に運営できたと感じております。また、中小型株については、引き続き銘柄精選の上で、ロングサイドで成長力が高いと思われる中小型株投資を積極化させております。しかし、ショートサイドに関しては、主に日経平均先物とTOPIX先物を空売りしていたことで、相場下落影響を相応に緩和しました。その結果、株価指数を上回った上に、プラスリターンを計上できました。銘柄選択自体も、当月も相応の自負を有しており、6月以降の展開に大いに期待しているところです。

今後の運用方針

6月の日本株については、円高を前提にした企業の2018年度業績予想が株価に完全に織り込まれている上に、欧州政治リスクや新興国リスクへの懸念が薄まる方向性にあるため、相対的に堅調な1Q業績が市場に次第に浸透する形となることを背景に、相対的に株価の安定性が高い展開が予想されます。

その中で、行方が読めないファクターは、米国発の貿易摩擦問題、米国金利動向、米朝首脳会談と全て米国絡みの問題です。つまり、もともと世界の政治・経済への影響力が最も大きい国である米国が、今後の世界の政治・経済への影響が大きいファクターを握っているということです。これは大変珍しい展開だと思われます。逆に言えば、ここで大きな波乱がなければ、株価が堅調に推移する可能性が高まります。

一方で、当ファンドでは、今年の日経平均株価について、もともと年初の24,000円強がピークとなる可能性が高いと考えておりましたが、そのシナリオ修正の必要性は少ないと考えております。世界景気のピークアウト自体は否定し難く、今後好景気が増幅する可能性よりも景気が落ち込む可能性の方が、有意に高いと思われるからです。その前提の下で、夏から秋にかけての世界景気のスローダウンを通じて、世界的に株価が下落するという大まかなシナリオを有しています。

以上を考慮して、6月の日本株については、ドル円108円~112円前提で、日経平均株価で22,000円から23,000円のレンジでの展開を予想します。グローバルの政治・経済に波乱がなければ、1Q決算発表期の7月後半から8月中旬ごろまでは株価は堅調に推移するかもしれません。しかし、そこが今年最後の上昇局面になるリスクには注意が必要でしょう。

そのような中、当ファンドでは、ロングサイドにおいては、当初は大型株中心に、その後は中小型株も意識して、株価上昇余地の大きい銘柄への個別投資を重視する方向性を強めてまいります。また、ショートサイドについては、主に株価指数先物を活用して、引き続き、ネットロング比率を10%~20%前後に維持した上でのアルファ追求運用を心がける所存です。米国発とする世界的な波乱要因の顕在化の動向を注視し、柔軟な運用体制を敷いて参ります。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「配分方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート戦略ファンド 愛称:「成長の風」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:平成30年5月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

投資リスク等

基準価額の変動要因

信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。

当ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等へ投資を行いますので、当ファンドの基準価額は変動します。

したがって、**受益者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。**

当ファンドの基準価額の変動要因の主なものは、以下の通りです。

有価証券の株価変動リスク

当ファンドは、国内の株式等を主要投資対象としますので、当ファンドの基準価額は、当該株式等の価格変動の影響を大きく受けます。株式等の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、発行企業の業績・経営状況の変化等により変動します。その影響により株式等の価格が下落した場合、当ファンドの基準価額が値下がりする要因になります。

「ロング・ショート戦略」固有のリスク

当ファンドは、株式の売建て(ショート)を行いますので、売建て(ショート)した株式の価格が上昇した場合にも当ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼし、場合によっては、売建て(ショート)の特性上、損失が想定以上になることもあります(また、株式を売建て(ショート)するにあたり、借入れコストがかかります。)。当ファンドは、株式市場全体の動向から影響を抑制する運用を行います、その影響がなくなるわけではありません。また、買建て(ロング)、売建て(ショート)する株式のリターン動向について見通しを誤れば基準価額が下落する要因となり、場合によっては大幅に下落する場合があります。

流動性リスク

組入有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場規模の縮小や市場動向によっては、組入有価証券が当初期待される価格での取引もしくは機動的な売上ができないことがあり、当ファンドの基準価額に悪影響を及ぼすことがあります。

信用リスク

有価証券の発行体において、経営不振、その他の理由により債務不履行が発生した場合、またはそうした事態が予測される場合等には、当該発行体が発行する有価証券の価格は大きく下落し、基準価額が値下がりする要因となります。

解約による資金流出に伴うリスク

一部解約金の支払資金を手当てするために、当ファンドが組入れている有価証券等を大量に売却する場合があります。この場合、市場規模や市場動向によっては、有価証券等を当初期待された価格で売却できないことがあり、当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※(ご注意) 以上は、基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ制度)の適用はありません。

分配方針

年4回(毎年2月、5月、8月および11月の各27日(休業日の場合は翌営業日))に決算を行い、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準・市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。
- 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社で作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート戦略ファンド 愛称:「成長の風」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:平成30年5月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

お申込メモ

購入単位	[一般コース(分配金を受取るコース)] 1口または1円単位として販売会社が定める単位 [自動けいぞく投資コース(分配金が再投資されるコース)] 1口または1円単位として販売会社が定める単位 (※原則、購入後に購入コースの変更はできません。)
購入価額	購入申込日の基準価額(1万円あたりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	[一般コース(分配金を受取るコース)] 1口または1円単位として販売会社が定める単位 [自動けいぞく投資コース(分配金が再投資されるコース)] 1口または1円単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金(解約)受付日の基準価額
換金代金	原則として換金(解約)受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
購入の申込期間	平成30年2月28日から平成30年8月28日 (期間終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、1億口または1億円以上の換金(解約)請求は、正午までをお願いします。
購入・換金・申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金(解約)の受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金(解約)申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	原則として平成33年8月27日までです。(平成23年6月20日設定)
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ● 受益権の口数が10億口を下回るようになった場合 ● やむを得ない事情が発生したとき ● 繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき
決算日	毎年2月、5月、8月および11月の各27日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	配年4回の毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
信託金の限度額	ファンドの信託金の限度額は1,000億円です。
公告	原則として、電子公告の方法により行い、委託会社のホームページ(http://www.fivestar-am.jp/)に掲載します。
運用報告書	毎年5月および11月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート戦略ファンド 愛称:「成長の風」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:平成30年5月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に申込口数を乗じて得た額に、 上限を3.24%(税抜3.00%) として、販売会社が定める料率を乗じて得た額とします。 ※ 購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンドの日々の純資産総額に年2.0844%(税抜 年1.93%)の率を乗じて得た額とします。 運用管理費用は、毎決算時または信託終了のときに、信託財産から支払われます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)</th> <th>年1.930%</th> <th>運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">配分</td> <td>委託会社</td> <td>年1.050%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年0.800%</td> <td>運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年0.080%</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表中の率は税抜きです。別途、消費税がかかります。</p>			当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)		年1.930%	運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率	配分	委託会社	年1.050%	委託した資金の運用の対価	販売会社	年0.800%	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価	受託会社	年0.080%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)		年1.930%	運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率														
配分	委託会社	年1.050%	委託した資金の運用の対価														
	販売会社	年0.800%	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価														
	受託会社	年0.080%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価														
実績報酬	<ul style="list-style-type: none"> ● 運用の実績に応じて実績報酬が発生します。 ● 実績報酬は毎決算時における過去最高値の基準価額(実績報酬控除後)をハイウォーターマークとし、基準価額がハイウォーターマークを上回った場合、その超過額に対して21.6%(税抜20.0%)を乗じて算出されます。 ● 当該実績報酬は、日次で計算され、日々の基準価額に反映されます。 ● 当該実績報酬は、毎決算時および信託終了のとき信託財産中より支払われます。 <p>※ 当該実績報酬は、委託会社と販売会社が1:1の配分で收受します。 ※ 当該実績報酬は、資金の運用に対する対価(委託会社分)、および運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価(販売会社分)です。</p>																
その他の費用・ 手数料	<p>以下の費用・手数料等は、信託財産中から支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組入有価証券取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等) ● 信託財産に関する租税 ● 監査費用 ● 計理およびこれに付随する業務に係る費用 ● 目論見書等の作成および交付に係る費用 ● 運用報告書の作成および交付に係る費用 ● 公告に係る費用 ● 法律顧問および税務顧問に係る報酬および費用等 <p>※監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。 ※これらの費用等は、運用の状況等により変動するため、料率、上限等を予め表示することはできません。</p>																

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート戦略ファンド 愛称:「成長の風」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:平成30年5月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの関係法人

委託会社: 信託財産の運用指図等を行います。

委託会社の照会先

ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2266号

一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員

ホームページアドレス

<http://www.fivestarm-am.co.jp/>

お客様デスク

03-3553-8711

(受付時間:委託会社の営業日の午前9時~午後5時まで)

受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

株式会社りそな銀行

(再信託受託会社: 日本トラスティー・サービス信託銀行株式会社)

販売会社: 受益権の募集・販売の取扱い、換金(解約)事務、換金代金・収益分配金・償還金の支払い等を行います。

販売会社の名称等

お取り扱い 販売会社一覧		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
内藤証券株式会社	金融商品 取引業者	近畿財務局長 (金商)第24号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○

※加入している金融商品取引業協会を○で表示しています。

※上記の表は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から細心の注意を払い作成したものです。

その正確性、完全性を保証するものではありません。

※楽天証券株式会社は、平成30年6月29日からになります。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。